

「子ども支援学講座」



— 現代の子どもたちを取り巻く環境を学んで、
支援力を高めよう

子どもを支援するための基礎知識（子どもの理解、接し方、子どもの環境等）や、実践的なスキル等、放課後という環境のなかでの子どもとの関わり合いについて体系的に学びます。

対象者

- 1 子どもの支援に関する取組で活動している方
- 2 子どもの支援に関する取組の活動に興味のある方

期間

令和3年

1月23日(土)～3月21日(土)

会場：オンライン

定員

30名

抽選制

受講料

	一般	市民・会員
通し受講(全12回)	15,000円	10,000円

※全講座を修了した方は、「こども支援士」認証取得の申請が可。(別途認証料要)



お申し込み・お問い合わせ

三鷹ネットワーク大学推進機構

申込期間▶12月8日(火)9:30～1月6日(水)21:00

FAX 0422-40-0314 お問い合わせ電話 0422-40-0313

URL <https://www.mitaka-univ.org/>

郵送先 〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル 3階

カリキュラム一覧



	時間	分類	講義・演習の題目	講師
講義編 (全6回)	第1回 1/23(土)	9:30 } 10:00 オリエンテーション	オリエンテーション 講義のガイダンス(自己紹介含む)	小森 伸一(東京学芸大学准教授)
		10:00 } 12:00 講義1	子どもにとってのよい支援者とは	柴田 彩千子(東京学芸大学准教授)
	第2回 1/24(日)	10:00 } 12:00 講義2	多国籍の子どもたち	瀧口 優(白梅学園短期大学教授)
	第3回 1/30(土)	13:00 } 15:00 講義3	アフタースクールの理念と課題	深谷 昌志(東京成徳大学名誉教授)
	第4回 1/31(日)	10:00 } 12:00 講義4	学びのSTEAM化	金子 嘉宏(東京学芸大学教授)
	第5回 2/6(土)	13:00 } 15:00 講義5	子どもの貧困と教育にできること	田嶋 大樹 (東京学芸大学児童・生徒支援連携センター 特命助教)
第6回 2/7(日)	10:00 } 12:00 講義6	発達障害についての理解を深める	大鹿 綾(東京学芸大学講師)	
演習・課題研究編 (全6回)	第7回 2/13(土)	9:30 } 12:30 演習1	子どもにとっての学校の意味 ①「昔の学校・今の学校」 ②「学校教育現場が必要としている学校 支援について」 ③「現在の学校について語り合おう」	深谷 昌志(東京成徳大学名誉教授) 福島 健明 (三鷹の森学園三鷹市立第五小学校校長) 四柳 千夏子 (一般社団法人みたかSCサポートネット 代表理事)
	第8回 2/20(土)	13:30 } 16:30 演習2	地域ぐるみで子どもを育てよう —三鷹市の事例紹介	四柳 千夏子 (一般社団法人みたかSCサポートネット 代表理事) 堀江 美由紀(三鷹市社会福祉協議会) 加藤 雅江 (杏林大学保健学部健康福祉学科教授、 NPO法人だんだん・ばぁ理事長) 木村 直人(文部科学省)
	第9回 2/28(日)	9:30 } 12:30 演習3	子どもと発達と運動	鈴木 聡(東京学芸大学教授)
	第10回 3/6(土)	13:30 } 16:30 演習4	体験活動とレジリエンス	小森 伸一(東京学芸大学准教授)
	第11回 3/13(土)	9:30 } 12:30 課題研究 ①	「放課後の子ども」を巡って 発表と話し合い	深谷 昌志(東京成徳大学名誉教授) 倉持 伸江(東京学芸大学准教授) 小森 伸一(東京学芸大学准教授)
	第12回 3/21(日)	9:30 } 12:30 課題研究 ②	「放課後の子ども」を巡って 発表と話し合い	深谷 昌志(東京成徳大学名誉教授) 小森 伸一(東京学芸大学准教授)
		修了式	修了式、交流会	柴田 彩千子(東京学芸大学准教授)

講師紹介



深谷 昌志 しかや まさし

東京成徳大学名誉教授、教育社会学専攻、教育学博士、日本子ども支援学会会長、放送大学や静岡大学などの教授を歴任。主著に『昭和の子どもの生活史』（黎明書房、2007年）、『父親・100の生き方』（中公新書、2008年）、『日本の母親再考』（ハーベスト社、2012年）、『子ども問題の本棚から』（黎明書房、2019年）など多数。

小森 伸一 こもり しんいち

東京学芸大学 教育学部 学長補佐・准教授
東京学芸大学大学院を修了後、カナダに留学。サスカチュワン大学にて修士号、プリティッシュ・コロンビア大学にて博士号を取得し2008年4月より現職。主な研究領域は、ホリスティック教育理論を基盤とした野外環境教育、サステイナビリティ教育、体験学など。近年では、「幸福学」「ポジティブ心理学」「アドラー心理学（勇気の心理学）」の知見にも着目しつつ探求。主な著書に『野外教育の理論と実践』（責任編集／分担執筆）、など。

田嶋 大樹 たじま ひろき

東京学芸大学 児童・生徒支援連携コンソーシアム 特命助教
主な研究領域はスポーツ・教育・遊びの社会学。所属する東京学芸大学児童・生徒支援連携センターでは、社会的・経済的に困難な状況にある子どもたちを支えるための学校・家庭・地域における支援システムや、次世代の教員・教育支援者養成のモデル開発に取り組んでいる。

倉持 伸江 くらもち のぶえ

東京学芸大学 総合教育科学系 教育学講座 生涯教育分野 准教授
専門は生涯学習論、社会教育学、成人教育学。おとなの学びや学習支援者の実践的な力量形成、学び合うコミュニティなどについて、研究と実践に取り組んでいる。

金子 嘉宏 かねこ よしひろ

東京学芸大学教育インキュベーションセンター 教授
1969年生まれ。東京大学卒。専門分野は社会心理学、教育支援協働学。一般社団法人東京学芸大 Explayground 推進機構事務局長、一般社団法人STEAM Japan 理事、NPO法人東京学芸大子ども未来研究所理事を兼任。子ども、教育関連の企業に勤めながら、「遊び」についての産学共同研究を数多く実践。現職にて、企業と大学、学校をつなぐ協働の推進、新しい「学びの場」の研究開発、普及に取り組んでいる。

大鹿 綾 おおしか あや

東京学芸大学 総合教育科学系 特別支援科学講座 講師
東京学芸大学大学院連合修了。博士（教育学）。
広島大学特任講師、日本学術振興会特別研究員、筑波技術大学講師、現在、東京学芸大学特別支援科学講座講師。
発達障害を併せ有する聴覚障害児の実態把握と支援方法の開発について研究・実践を行っている。

鈴木 聡 すずき さとし

東京学芸大学 教育学部 健康・スポーツ科学講座 博士（教育学）教授
公立小学校、東京学芸大学附属世田谷小学校教諭を経て、2012年より現職。専門は教師教育、教育心理学。
「スポーツ庁小学校体育（運動領域）指導の手引」作成委員、「同全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関するワーキンググループ」委員。
主な共著は『コアカリキュラムで学ぶ 教育心理学』（培風館）、『子育て支援員研修テキスト』（中央法規出版）など。

柴田 彩千子 しばた さちこ

東京学芸大学 教育学部 准教授 博士（教育学）
日本女子大学専任助手、帝京大学講師、准教授を経て現職。子どもに関わる社会活動として、三鷹市教育・子育て研究所研究員、八王子市教育委員、小金井市子ども家庭支援センター運営協議会長、川崎市青少年問題協議会委員等を務める。主著に『地域の教育力を育てる』（単著）、『テキスト生涯学習』（共著）等がある。研究テーマは、地域づくりと教育、家庭・学校・地域の連携、等。

瀧口 優 たきぐち まさる

白梅学園短期大学 教授
白梅学園短期大学保育科教授、外国語（英語）及び「保育内容ことば」等の授業を担当。和光大学大学院（学術修士）。新英語教育研究会、保育学会、世代間交流学会、教科研等
2016年度より小平国際交流協会評議員、小平市生活支援体制整備事業協議会会長。教育支援人材認証協会運営委員、小平市大学連携協議会会長、1994年に「ベトナムにおもちゃを送る会」を立ち上げ、以後交流を続けている。現在は障がい児・者支援を中心に取り組んでいる。

四柳 千夏子 よつやなぎ ちかこ

一般社団法人みたかSCサポートネット 代表理事
三鷹市にて小・中学校のPTA活動、放課後の子どもの居場所事業などに中心メンバーとして活動してきた。三鷹の教育施策であるコミュニティ・スクールにも開設当時よりかかわっており、現在は文部科学省 CSマイスターとして全国で講演活動を行っている。歴任した委員などはあげればきりがないが、一貫して三鷹の教育や三鷹の子どもたちにかかわっている。

堀江 美由紀 ほりえ みゆき

三鷹市社会福祉協議会地域福祉推進係主任、社会福祉士、精神保健福祉士
2009年入職。権利擁護センターみたかで成年後見制度の申立支援や地域福祉権利擁護事業の専門員を経て、2017年度にみたかボランティアセンターに異動。全時的な子育て支援担当として、子育てサロンや子ども食堂等子ども子育て世代のための居場所立ち上げやボランティア養成講座の実施、子育て支援団体の横のつながりづくり等に携わっている。

加藤 雅江 かとう まさえ

杏林大学保健学部健康福祉学科 教授、NPO法人だんだん・ばあ理事長
大学卒業後、杏林大学医学部付属病院 医療福祉相談室に入職。30年間精神保健福祉士として勤務。主に犯罪被害者支援、自殺未遂者支援、子ども虐待防止に取り組む。2020年4月大学内の人事異動により保健学部健康福祉学科へ。地域においては2016年にNPO法人居場所作りプロジェクトだんだん・ばあを立ち上げる。子どもたちの居場所作りと地域を耕すことをテーマに活動。日本精神保健福祉士協会理事、日本こども虐待医学会代議員、社会福祉法人子どもの虐待防止センター評議員。

木村 直人 きむら なおひと

文部科学省
1967年東京都生まれ。文部科学省初等中等教育局在籍時代には、地域と学校によりよい関係づくりをめざし、2年あまりにわたって学校現場や地域の皆さん、子どもたちとのディスカッション、講演を重ね、その後も全国行脚を続ける回数は100回を超える。課外活動として、「子どもたちの希望あふれる未来を考える研究会（みら研）」を主宰。子どもたちのために大人たちが何ができるかをフリーにディスカッション中。まちづくりはひとつづくり、子どもたちにとって魅力あるまちづくりこそが持続可能なまちづくりにつながるが持論。
モットーは、「やってみなきゃわからない。」

福島 健明 ふくしま けんめい

三鷹の森学園 三鷹市立第五小学校 校長
東京都立、市立小学校、東京学芸大学附属小学校で教員、三鷹市内副校長を経験し、昨年度まで三鷹市教育委員会教育施策担当課長として「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育」の推進を担当。現在に至る。



「こども支援士」[®] 認証について

「こども支援士」は、一般社団法人教育支援人材認証協会が発行する認証です。（商標登録あり。）

出席時間数やレポート合格などで所定の要件を満たすと、認証取得が可能となります。

現在、全国で多数のこども支援士取得者が、地域で活躍をしています。

具体的には、放課後児童クラブ指導員、放課後子ども教室指導員、放課後子ども教室コーディネーター、特別支援サポーター、中学生の居場所、青少年体験活動アドバイザー、子ども支援活動のNPO団体等。既に職業として、またボランティアとして多方面で活動している方々が、「こども支援士」の認証を取得することで、さらに活動を深め、同じような志を持つ方々と情報交換や交流をしています。

● 認証者に提供されるもの ●

● パスポート

パスポートは活動の履歴として活用いただけます。

- ・こども支援士（更新期限5年間）

● 認証カード

- ・名刺サイズのカード・バッジ

● その他

- ・会員誌の発行

全国の認証者の活動紹介や、協会からのお知らせ等をお届けします。

メールマガジン：毎月1回、ニュースレター：年1回

- ・シンポジウムや交流会への参加

- ・「こども支援士」認証者は、『日本子ども支援学会』、『日本教育協働支援学会』への入会資格が得られ、大学の研究者らとともに、子どもに関わる支援について学びを継続していくことができます。



一般社団法人教育支援人材認証協会 <http://jactes.or.jp/>

『日本子ども支援学会』 <http://kodomoshiengakkai.com/index.html>

『日本教育協働支援学会』 <https://kyoiku-shien-kyodo.org/index.php>



三鷹ネットワーク大学 受講者登録用紙

*すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。インターネットでもご登録ができます。

※太枠内の項目は必須事項です。

登録日： 令和 年 月 日

お名前	フリガナ	性別	男・女	生年月日	西暦 年 月 日
受講者区分 ※該当する番号を1つ選んで○をつけてください。	(1)【市民】三鷹市にお住まいの方(学生は除く) (2)【市民(在勤・在学)】三鷹市外にお住まいで、三鷹市内の職場・学校に通われている方 (3)【市民学生】三鷹市にお住まいの学生の方 (4)【会員】勤務先、学校等が三鷹ネットワーク大学の正会員または賛助会員の方 (5)【一般】三鷹市外にお住まいの方				

Eメール					
緊急連絡先	携帯電話番号：		携帯Eメール：		

《郵便物の送付先※振込用紙や受講証等のお送り先を、下記から選んでください。》

郵便物送付先	ご自宅	勤務先
---------------	-----	-----

《ご自宅》

ご住所	〒 —			
電話番号		F A X		

《勤務先・学校名等》

勤務先名称	※学生の場合は学校名と学部・学科名			
勤務先部署名	※学生の場合は学籍番号		役職名	
ご住所	〒 —			
電話番号		F A X		

《ご職業等》※職種・業種について該当するものにそれぞれ○をつけてください。

勤務先業種	①官公庁 ②団体 ③教育 ④宗教 ⑤医療 ⑥建設 ⑦金融・保険 ⑧製造 ⑨運輸・通信 ⑩農林水産 ⑪電気・水道 ⑫不動産 ⑬卸・小売 ⑭飲食 ⑮IT・ソフト ⑯その他
職業(職種)	①経営者 ②役員・管理職 ③一般事務 ④営業 ⑤販売・サービス ⑥生産管理 ⑦研究開発 ⑧専門職(医師・弁護士等) ⑨教職 ⑩自由業 ⑪専業主婦 ⑫無職 ⑬その他

《三鷹ネットワーク大学からの情報提供ご希望の有無》

情報提供	希望する	希望しない
-------------	------	-------

《興味をお持ちの分野》※3つまでお選びください。

1 経営・経済学	2 歴史学	3 法学	4 文学	5 工学	6 教育学	7 福祉・医療	8 介護・看護
9 コンピューターサイエンス	10 アジア・アフリカ言語	11 総合政策	12 国際関係論	13 政治学	14 天文学	15 農学	16 臨床心理学
17 カウンセリング学	18 社会心理学	19 国際コミュニケーション学	20 スポーツ医学	21 マーケティング学	22 人間環境学	23 キャリアデザイン等	24 社会福祉学
25 情報科学	26 情報コミュニケーション学	27 グローバルビジネス学	28 宗教学	29 平和学	30 生物学	31 化学	32 数学
33 教養学	34 建築学	35 その他					

◆受講者登録について *すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。

三鷹ネットワーク大学で受講される場合は、受講者登録の手続きが必要です。講座のお申し込みをする前に(講座のお申し込みと同時に)、必ず受講者登録を済ませてください。ご登録をさせていただくことにより、今後お申し込みされる際に、ご住所等、個人情報を記入する手間がなくなります。またインターネットからの申し込みも可能となります。

◆個人情報について

ご記入いただいたお客様の個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切に管理するとともに、受講決定通知および講座のご案内目的のために使用します。

D07

三鷹ネットワーク大学・東京学芸大学連携企画講座

「子ども支援学講座」

—現代の子どもたちを取り巻く環境を学んで、支援力を高めよう

申込用紙

受講者番号	E	申込日	令和 年 月 日
お名前	フリガナ	電話番号	

※申込欄に○をご記入ください

特別セミナー

申込欄	講座日程・講座タイトル	受講料	領収印
	【全12回】 令和3年1月23日～3月21日 (土曜日、または日曜日) [D2010700]	<input type="checkbox"/> 一般 15,000円 <input type="checkbox"/> 市民・会員 10,000円	

この講座をどちらでお知りになりましたか？ 該当するものに○を一つだけご記入ください。

- | | | |
|---------------------|-----------------|---------------|
| 1. 三鷹ネットワーク大学ホームページ | 4. ポスター / チラシ | 7. 友人・知人よりの紹介 |
| 2. ダイレクトメール | 5. 学内ポスター / チラシ | 8. 新聞記事等 |
| 3. 三鷹市広報 | 6. 講師・教職員よりの紹介 | 9. その他 () |

※ファックスでお送りいただく場合には、着信確認のためのお電話をお願いいたします。

電話：0422(40)0313 ファックス：0422(40)0314

【郵送での申込】〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階三鷹ネットワーク大学事務局

受講までの流れ

【お申し込み】

12月8日(火)午前9時30分～令和3年1月6日(水)午後9時まで、Web、FAX、窓口、郵送でお申し込みください。

本講座のお申し込みには、三鷹ネットワーク大学への登録が必要です。

【結果のお知らせ】

1月8日(金)に抽選結果を、メールでお知らせします。結果はお申し込みをされた全員の方にお知らせします。

【受講料のお支払い】

お支払い方法については、当選された方へメールでPeatix(イベント運営管理サイト)のURLをお知らせしますので、Peatixでお支払いください。お支払い方法は、クレジットカード、PayPalもしくはコンビニ、ATM払いから選択いただけます。

【Zoomについて】

入金が確認されましたら、Peatixからメールが届きます。第1回目のZoomのURL、ID、パスワードが記載されていますので、ご確認ください。

※Zoomを使用したオンライン講座ですので、ご自身でZoomアプリをご準備ください。

【講座第1回当日】

1月23日(土)9:15から入室可能です。Zoomを初めてご利用される方は、お早めに入室ください。